

NPO法人



2019年3月10日

第41号

Jomon Shiba



特定非営利活動法人

縄文柴犬研究センター

| | |
|------------------------------------------------------|----|
| もくじ----- | 1 |
| 新年に思うこと ☆JSRC 理事長 橘 宏 ----- | 2 |
| 2019年度 総会・理事会のご案内---会員の皆様へ----- | 2 |
| 総会出欠ハガキのご案内---会場案内----- | 3 |
| お便りコーナー「ハル(北鷹の穂高)です」☆大岡早苗----- | 4 |
| ☆神奈川 高橋守一 ☆新潟県 井上 覚----- | 5 |
| ☆広島県 池田臣省----- | 6 |
| 「良子の近況 No.23」☆富山県 竹内誠一 ☆石川県 土井下千明----- | 7 |
| ☆広島県 向井亮太----- | 8 |
| 「我が家の縄文柴犬飼育八ヶ月の課題」☆秋田県 高橋 務----- | 10 |
| 特集 Shi-Ba 3月号の「芸州縄文柴犬物語」 ☆五味靖嘉 ☆柳楽 倫 ☆土井下千明 ☆大名博子--- | 12 |
| 繁殖・作出について---縄文柴犬の保存を☆五味靖嘉----- | 13 |
| 事務所報告 ☆新入会☆会費☆仔犬登録☆寄贈----- | 22 |
| 総会・理事会に参加して下さい「会員の皆様へ」----- | 22 |
| 諸料金一覧・血統登録について----- | 9 |
| メーリングリストへの参加募集について----- | 6 |



・次号、会誌原稿の締め切りは4月末を予定します。愛犬の様子などと共に、写真も添えてお寄せ下さい。

◆会員の方には、委任状のハガキを同封しました。必要事項をご記入し、3月25日までに必ず投函して下さい。

・会費や寄附などをお寄せいただいた方の氏名・県名を掲載させていただきますが、匿名を希望される場合は、お知らせください。

・「郵便払い込み票」を同封しましたので、2019年度の会費未納の方はよろしくお願ひします。

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

郵便振替口座 : 02280-2-106951

会事務所 : 〒 014-0073 秋田県大仙市内小友字堂ノ前 119 番地 5 ☎ 0187-68-2976

<http://www.j-shibainu.sakura.ne.jp/> encounter_shiba@jomon-shiba.sakura.ne.jp

新年に思うこと

JSRC 理事長 橋 宏

次から次と様々な問題が、朝のニュースに報じられる新年でした。

会員の皆様には、そんな世俗とかかわりなく、愛犬ともども健やかな初春を迎えられた事と、お喜びの挨拶を申し上げます。

昨年、北海道で交流会をと、皆様から希望を寄せられ、私も及ばずながらと走り廻り、何とか会場の確保は出来ましたが、(広い北海道で、会場に苦勞する事は考え及ばなかったのですが)残念な事に、交流会の問題提起にと考えていた方(獣医師)が”大型”に移動、連絡が取れなかったり、当初会場にと考えていた、富良野北の峯スキー場の、リフト乗り場下の旅館にと尋ねたのですが、私の説明不足もあったかと思いますが、犬の集まりという事が、納得いかないという事で、急遽私も協力会員になっている、余市の”教育福祉村”にお願いして会場・宿泊は何とか確保出来たのですが、交流会の具体的な進行に必要な内容などの事には未確定な事項が多くあり、どうしようかと思悩んでいたところ、これに合わせていたように、地震と全道的なブラックアウトに見舞われたのです。折角の交流会企

画でしたが、今回は中止せざるを得ませんでした。

北海道での交流会を、と期待されていた方には、本当に申し訳なかったと思っています。

会誌 40 号の末尾に、JSRC の交流会歴にある、函館での交流会から 10 年振りの北海道での集いが、私の動きの鈍さから残念な結果となってしまい、反省すること多くありました。

今回で終了となる、根深さんの”シバの散歩道”の後半に、シバとの別れが時間を追って、克明に記されていて、我が家の”未來”の最後と重なって、思わず涙してしまいました。”未來”は 15 才の誕生日を、ほんの心ばかりのオヤツも全部食べる事も出来ない様な状態でしたが、それでも時には年を越せるのでは!!と思わせる、元気さを見せる事がりましたが、15 才と数日で息を引き取りました。

今年は、希望あふれる年にしたいものと思いながら、ご挨拶と致します。

尚、最後になりましたが、例年通り下記の通り理事会・総会を開催致しますので、皆様の出席をお待ち申し上げます。(2019.1.17 記)

2019 年度 総会・理事会のご案内

JSRC 理事長 橋 宏

日程 : 4 月 20(土)13:00 ~ 4 月 21 日(日)11:00迄

会場 : 白石湯沢温泉やくせん 宿泊費 : 13,000 円 (税込/一人・昨年と同会場、案内・次頁参照)

理事会 : 4 月 20 日(土)・13:30~17:30 (1)総会準備 (2)その他

・17:40 夕食。入浴後、懇親会

総会 : 4 月 21 日(日)・7:00 朝食

・8:30~11:00 (1)活動報告・決算 (2)事業計画・予算 (3)その他(終了後、現地解散)

会 員 の 皆 様 へ

NPO 法人縄文柴犬研究センターの 2019 年度総会を表記の通り開催しますので、是非ご参加下さい。理事会は理事以外の方も参加出来ます。総会は自由に意見を交換し合い、一年間の方針を決めて活動します。

また、同封の出欠ハガキに必要事項を記入し、必ず

3 月 25 日までに投函して下さい。

総会参加費は無料ですが、宿泊して懇親会に参加される方は一人 13,000 円位の自己負担になります。尚、懇親会出席の方は、各自お国自慢の一品と飲み物(地酒・地ワイン・地焼酎等)の差し入れ歓迎です。

総会出欠ハガキのご案内

- ◆会員の方には、委任状のハガキを同封しました。必要事項をご記入し、3月25日までに投函して下さい。
- ◆役員でなくても、理事会・総会には出席できますので、ぜひご参加ください。なお、出席が複数名になる場合は、その旨を必ず余白に記入してください。
- ◆出席できない場合でも、事業計画など皆様のご意見や提案をお待ちしておりますので、ハガキの余白、或

- いはお手紙、メールなどでご自由にお寄せください。
- ◆宿泊ご希望の場合は、はがきに記入ください。宿泊は一泊13,000(税込)円位です。
- ◆懇親会出席の方は、各自お国自慢の一品と飲み物(地酒・地ワイン・地焼酎等)の差し入れ歓迎などをご準備ください。参加者みんなで賞味します。
- ◆不明な点は、事務局までお問い合わせください。



泉質 石膏芒硝泉
ナトリウム、カルシウム、低張性弱アルカリ性低温泉

効能

浴用: 慢性皮膚病(アトピー)、動脈硬化症、きりきず、やけど、神経痛、筋肉痛、五十肩、うちみ、くじき、冷え性

飲用: 慢性胆のう炎、胆石症、慢性便秘、肥満症、糖尿病、通風

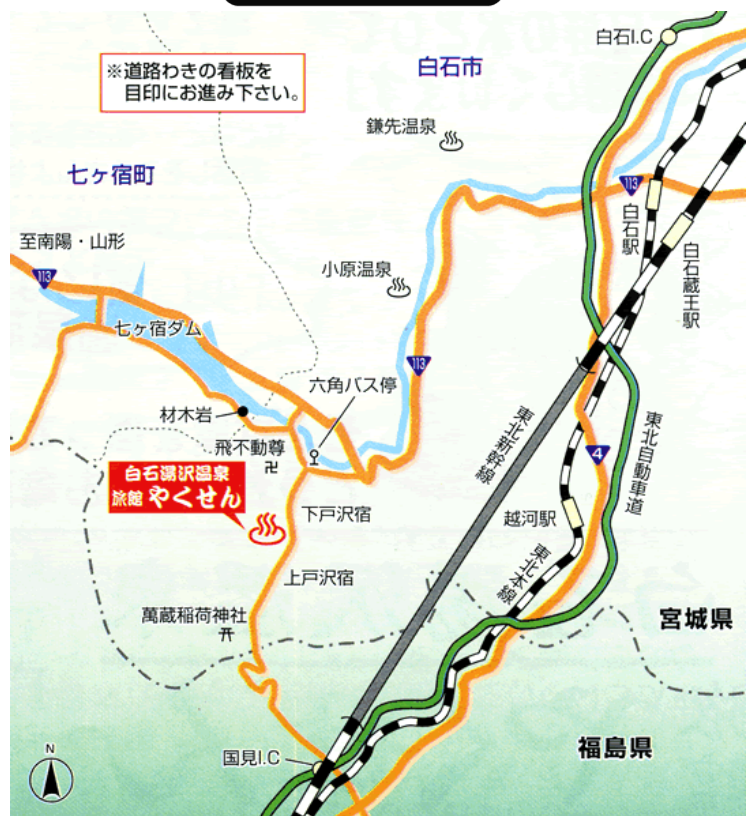


当、旅館はかけ流しです。

住所：宮城県白石市
小原字八幡前 19-1
電話：0244-29-2620

- 《交通案内》
- 列車：東北新幹線 白石蔵王駅下車
バスに乗り換え→(30分)→六角バス停下車、徒歩 15分
- 車：東北自動車道 白石ICより30分
東北自動車道 国見ICより15分

会場ルート



お便りコーナー

(投稿は随時受け付けます)

ハル（北鷹の穂高）です

皆様ご無沙汰しております。我が家のハルも、今日 11 月 22 日で 2 歳になりました。ハルは雨が降ろうと風が強く吹こうと朝夕の散歩は欠かさず、毎日元気にしております。

ハルの今のマイブームは、おじいちゃんが庭木の剪定する時に出た不要な枝を犬小屋に持ち帰りコレクションすることです。そんなハルは、1 歳半頃から「ダメ」の指示に従わなかったり、唸ったり吠えたり、散歩中に突然噛みつこうとしてきたりと反抗的な態度をとるようになり、どうしたら良いものかと思ひ悩んだりしました。

でもこの 1~2 カ月ほどの間に少しずつ落ち着いてきて、私たちの指示にも従い、散歩中に噛みつこうとすることもなくなりました。今ではのんびり穏やかに過ごしています。あの時期は人でいう反抗期だったのでしょうか？何だか不思議です。これからもハルと一緒に穏やかで楽しい時間を過ごしていきたいと思ひます。(11/22)



剪定で切り落とした枝のコレクション

ハル:北鷹の穂高-北鷹 2016.11.22 生

(長月の紅丸×駒の舞姫)



ハルの噛みつこうとする行為はまだ完全に治まったわけではないかもしれませんが、私の実感としては、かなり治まってきていると思います。ハルの噛みつこうとする行為は、ひどい時は本気で噛みつかないまでも犬歯の跡が付くぐらいの勢いでした。すれ違う人にも吠えかかることもありました。

その為、散歩させる私たちが散歩をしながら、また噛みついてくるのではないかと、すれ違う人に吠えかかるのではないかと無意識のうちに身構え警戒していたと思います。それがハルにも伝わり、信頼関係が壊れかけていたのでしょうか。だから、ハルも私たちの指示に従わなくなったのだと思います。

私たちがハルを信頼し、安心して散歩できないとハルとの関係は良くなれないと思ひ、私たちはまず、ハルには申し訳ないと思ひつつも口輪を付けてみました。ハルは最初イヤイヤながら付けていましたが、口輪を付けていると、草むらや木の茂みに顔を突っ込んでも、鼻がムズムズしたり、枝で顔を引っかいたりしないと気づいてからは、抵抗なく付けるようになりました。

私たちが噛みつかれる心配が無くなると、気持ちに余裕を持って散歩できるようになり、自然にハルに対する接し方が変わったのだと思います。

今では、念のため人の往来の多いところや相性の悪い犬とすれ違う時には口輪を付けますが、ハル自身もなぜ口輪を付けるのか、まるで分かっているように口輪を付けさせてくれます。それ以外では口輪を付けなくても安心して散歩ができています。

口輪を付けていないときに人とすれ違っても吠え掛かることなく、お座り・待ての指示に従い座って通り過ぎるのを待っています。

今回の事は、犬の方には何の問題はなく、犬に接する人の方に問題があったのではないかと、ハルを心から信頼できていなかった私たちが悪かったのだと思います。本当にハルには申し訳なかったと思います。これからもっと、ハルとの信頼関係を強いものにしていきたいと思っています。(11/23)

大岡 早苗

神奈川県 高橋守一さんから

↓モモ：秋の珠紅姫・奥州五味 2013.10.22 生

(剣の太郎×鉄火の紅子)

モモは、半年前まで 8 kg だったのに、12 月に測ったら 10 kg となり、驚きました。鳥の骨のスプーン 2 ケと野菜を煮、麦ご飯を少しです。散歩は、朝と夕方の二回で、時々、道中におやつを与えておりました。

近所では、人なつっこく可愛いと評判のモモです。痩せてガリガリのモモよりも、太り気味のモモが人気です。しかし、反省して鳥のスプーンは止め、煮干しを煮込んで、量も少しにしています。

40 号の「シバの散歩道」を読んで、同情し、泣けてしまいました。モモもいつかは別れの時が訪れるのだろう。できるだけ可愛がり、長生きさせて行きたいと思っています。(2019.1.4)



新潟県 井上 覚さんから

拝啓

いつも大変お世話になっています。冬到来を感じさせる日々になりましたがお元気にお過ごしでしょうか。私ども家族も何とか元気になっています。紅も雨の日も嫌がらずに散歩を楽しむようになってきました。散歩も最近是我的都合で、3 キロ位の時があれば、時間のない日は 1 キロ位で、一日 2 回位楽しんでいきます。私が出掛ける時は感じ取って、自分も連れて行くとばかりに鳴き続けるようになりまし



↑紅=秋の栗紅姫-奥州五味・2017.7.18 生

(栗駒の竜王×葉月の柚姫)

て、少し考えさせられている今日この頃です。

体重は 8.5 キロ位です。骨格はとてもしつかりして手の付け根、足の付け根の筋肉の多さに感心しています。今年は初雪もきれいになくなり、今はまだ雪遊びができませんが、元気に外で楽しく一人遊びをすることが多くなっています。

嫌いな音がありまして、雷が鳴り始めると泣きながら震えています。又番犬として家族に鳴いて人が来

たことを教えてくれます。家の中で仕事をしていても、家から少し離れたところで仕事をしていても、教えてくれるので助かっています。やはり夜暗くなると、近くに動物が来ると犬小屋から飛び出して鳴いてくれています。お陰で我が家は外を荒らされる事もなく過ごしております。

これから雪の季節になりますが、皆様、お体に気をつけてお過ごしください。(2018.11.30)

広島県 池田臣省さんから

↓ 秋紅の黒姫-奥州五味 2018. 7. 26 生(栗駒の紅中×中の秋紅姫)



メーリングリストへの参加募集について

J S R Cでは、メーリングリストを実施しており、日常の情報や、愛犬の相談などを、自由に交流しております。メーリングリスト(ML)は、会員の方でメールアドレスをお持ちなら、どなたでも無料で参加出来ます。参加ご希望の場合は、事務所までご一報ください。

「良子」の近況 No.2 3

良子：飯山の駒姫一飯山・2010.10.25 生

(藤の黒姫×新田の夏女)

今年は、異常気象や台風、地震の発生があり大変な年となりました。被災された地域の方お見舞いを申し上げますと共に、一刻も早い復旧を心から願っております。幸い富山では、大きな被害もなく安堵しています。只長雨の影響で田圃が柔らかく稲刈りに一苦労しています。あと10日程で終わると思います。

「良子」は、元気に暮らしています。しかし、てんかんの発作が2日連続で起こったため、獣医さんに相談したところ薬で抑えることになりました。一番作用の弱い薬で始めて3か月過ぎました。

飲み始めの頃少し元気がありませんでしたが、今のところ発作は、起きていません。一生涯飲み続けなければいけません、発作抑止のため仕方ないと思っています。

今元気いっぱい飛び回っています。猛暑の時は、夕方の散歩は控えていましたが今再開しています。朝と夕方の散歩時間になると、体内時計が働くのか散歩を要求します。いつもの神社と用水沿いを歩くお決まりのコースです。生き生きとした表情が心を和ませます。

帰った後美味しそうに食事をします。慌てて食べるので咳き込むことがあります。落ち着いて食べてほし



いものです。高齢犬の仲間入りをしています。いつまでも元気に健やかに暮らしてほしいと願っています。

今年からライフルの実包を手作りしています。市販の実包は、着弾にばらつきがある他1発500円しますが、1/3で作れます。火薬2粒か3粒の精密な世界で薬莖は、長さの調整とショルダー部を形成します。先日埼玉県射撃場で300mの射撃を行ったところ5cm中心の円内に概ね着弾します。猟期が楽しみです。(2018.10.15)

富山県 竹内 誠一

石川県 土井下千明さんから

前回、ご報告させて頂きましたモンちゃんの「繁殖の為の秋田の旅」の、その後のご報告をさせて頂きます！

佐々木様のメーリングリストの内容や、その後のやりとりなどでお判りかもわかりませんが、結果を申し上げますと今回の繁殖は、モンちゃんの生理が上手く合わず失敗と相成りました。

約、一ヶ月の間、秋田の五味さん宅にずっとモンちゃんを預けていたのですが、正直に言うと、モンちゃんが居なくて寂しくて仕方ありませんでした！(先に居た犬猫は、モンちゃんが居なくてとても快適そうにも見えましたが…(^◇^))

しかしながら、やっと帰って来たモンちゃんを見て、

教室の会員さんが「明らかにモンちゃんが大人しくなった」と、異口同音におっしゃいます。確かに飛びつきが穏やかになって、鼻ツンもしなくなり、大人しく頭を撫でられてる。Σ('●△●')

こういった行動は、縄文柴犬の個性であり特徴なのかと思っていたら、何の事はない、私の育て方だったと気付かされ、これを機に、モンちゃんへの接し方を改める事にしました。「改めれるのは、今しかない！」と、私的には一大決心したのです。振り返れば、私は子供も亭主も居ない気ままな独身貴族ですから、モンちゃんが「ワン」と言えば声をかけ、庭で木に紐が引っかかって動けずにいれば、解いてやり、何かしらモンちゃんを構っていたようです。以前にも、五味さんから「犬を無視するくらいが、ちょうどいい」と、言われた事がありましたが、「無視なんか出来ないよ〜」

と、正直思っておりました。ところが、いちいち構っていた事で、モンちゃんは自分が一番になっていたのでしょう。今は啼いても構わない。吠えたら、無視!! ご飯はあからさまに後回し! 家に入れてと騒いでも、これまた無視! モンちゃんの言う事を聴かない! を、頑張っております!

モンちゃんは、私的には以前からお利口さんでしたが、誰から見てもお利口さんを目指すべく、私が努力を重ねる事に…

まだまだ、お互い出方をみてる感じの私とモンちゃんですが、今後もより一層信頼が深まるように頑張るつもりです!

今回は「モンちゃん繁殖の為の秋田の旅」を改め、「モンちゃん修行の為の秋田の旅」と、なりました。春にまた、生理が来たら繁殖を考えて行くつもりです。

(2018/11/30)

モン：剣春駒姫ーくりこま・2017.2.14 生

(剣の紅太郎×栗駒の春姫)

(日向ぼっこをするモンちゃん) ・私もモンちゃんもまだまだですが、どうぞよろしくお願いします。



広島県 向井亮太さんから

瀬戸内海に浮かぶ島、江田島に住んでいます。

2018 年の 10 月にびわ (木霊の枇杷) メスが我が家にやってきてもう 3 ヶ月 (8 月生) になりました。今では、家族の一員として互いに信頼しあえる関係になっています。

そして 12 月に雌 2 匹、雄 1 頭の 3 兄妹が広島にやってきました。その内の雄 1 頭が新しい家族に増えました。名前は、『イキル』(秋月の紅中)です。

以前飼っていたハヤト(剣の菊太郎)以来のオスで、僕のオスのイメージはとてもヤンチャで食いしん坊なイメージがありましたが、今回広島に来た 3 兄妹の中でも一番おっとりとしたおとなしい性格の子でした。僕は、イキルを家族に迎え入れる際に先輩犬のびわの気持ちを考えて、イキルとの触れ合いを辛いのですがなるべく控え、嫁・子供に任せて、びわを第一に愛情を注ぎました。

その結果、2 頭が互いに認め合うまで、僕がみる限りでは、1 週間掛かりました。その間のびわは、少しの



↑左:びわ(木霊の枇杷)



↑イキル(秋月の紅中)

↓左=イキル: 秋月の紅中・奥州五味・2018.10.12 生栗駒の紅中×葉月の柚姫

右=びわ:木靈の枇杷・木靈・2018.8.11 生日(天の黒兵衛×中秋紅夏姫)↓



嫉妬は感じましたが、いつも手加減し遊んだり、怪我をしている部分を舐めたりと、優しいお姉さんと言う感じでした。

先日奥さんに言われたのですが、そんなに僕は相手にせず奥さんに任せていたはずの「イキルが一番好きなのはあなたみたいよ」と。「イキルが自ら膝の上に座わりに行くのは、あなただけだしいつもイキルとびわはあなたの側に座ってるから」と言っていました。

僕がびわに対しての接し方や、びわの僕に対する姿からいろいろ教わったのかなと思っております。

人と犬、守って、守られる関係。どう育つかは、育つ場所と育てる人が、どれだけその子の事を理解して接するか、育て方や飼い主の自分の生き方をブレずに生きるかだと思います。

本人の子と同じだとおもいます。また言葉で発しないぶん、目や仕草で感情、思いを読み取る。それ以外にも沢山の事を犬という生き物から子育ての仕方を学び、今まさに 5 歳と 3 歳の我が子相手に実践しております。

犬と人の関わりや、この生き物の奥深さをさらに考えさせられ、そして我が子も犬という生き物からいろいろ学び考えているようで、ネットや本を見ても絶対にわからない世界に、僕ら家族は楽しむ毎日です。

(2019.1.16)

諸料金一覧

| | | |
|-----|------------|---------|
| 会 費 | ・ 入 会 金 | 1,000 円 |
| | ・ 年 会 費 | 5,000 円 |
| 登録料 | ・ 血統書発行 一頭 | 1,500 円 |
| | ・ 犬 舎 名 | 2,000 円 |
| | ・ 登録再発行 一頭 | 1,000 円 |
| | ・ 単 独 犬 | 2,000 円 |

血統登録について

- ①仔犬が生まれた方は御一報下さい。(用紙送付)
- ②申し込みには登録料が必要です。
- ③血統登録、犬舎名登録は五文字以内で、漢字には必ずふりがなを付けること。
- ④両親犬のカラー写真(5×6 cm以上)を添付。
- ⑤二週間以内にカラーで発行しております。

血統書発行の申し込み先は下記になりました。

住所：〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江 478-1
向井亮太 まで

我が家の縄文柴犬飼育八か月の一課題

秋田県 高橋 務

五月に我が家に縄文柴犬元(げん)を迎え、ちょうど一
月末で成育歴は十か月、飼育して満八か月を迎える。
この間の続いた課題のひとつを紹介したい。犬は個体
差が大きいとはいえ、何かしら参考になることもある
と思うからである。

二回目のワクチンを接種し、三か月すぎから散歩に
連れて歩く生活が始まった。夫婦分担し、早朝と夕方
の散歩は排便のため、あとは適宜サークル外に出して
排尿させるための散歩と言い換えることができる。は
じめ二時間に一回の割の排尿であったが、成長ととも
に排尿の回数は減少でき、現在の状況は、回る地域を
徐々に拡大させ、コースをいろいろ考えたりして早朝
と夕方は五十分程度、正午と夜八時頃に排尿のため外

に出して三十分程度回る。自分の居住場所では排せつ
しない基本生活パターンを毎日続けている。サークル
を冬季は玄関の風除室内に移す関係もある。散歩は、
老後の自分達の健康だけでなく、多様なメリットがあ
るので、元の成長段階に即して、変動させながらこの
形で続けていきたいと考えている。

この散歩の間で一番気掛かり点は、飼い主を噛む習
性があるという点である。はじめは乳歯が生え替わり、
永久歯が生えそろうため、食欲が落ちたりもしたこと
があったので、心理的にも不安定なために噛むのか、
生えてきた歯を使うようになってきたためかなと考
えた。その後歯の方は永久歯が生えそろう、最近にな
って口の中の体制が確立して一段落した感がある。し



元:栗の紅王・くりこま・2018年3月27日生(奥州紅中×葉月の富士姫)

かし、噛みぐせはどうも治らないままである。

普通自分の飼っている犬に噛まれる経験は余りないのではなかとと思う。もっとも本気で噛むわけではなく、いわゆる甘噛みである。しかも、他人に対してでなく、飼い主に対してだけである。たとえば、この元は飼い主である我々二人の散歩時の服装に関心が高く、新しい服の場合は必ず噛んで確かめようとする。ただし、一度噛まれて洗礼を受けた服には繰り返して噛んだりしない。先代の犬は衣服の端をペロリと舐める程度のことにはした。噛もうとしてどこまでもまとわりついたりした経験はなかった。我々を身内と考え、いつも細かく観察している。どちらかというと同じ犬と考えているのではないかと思う。うれしくなったとき、何か啞(くわ)えて散歩に行こうとするのを制止されたとき、特に噛む行為につながる。制止や禁止されたときは反抗・反発して、威嚇的にジャンプして歯が手に当たるときもある。

夕方の散歩は妻が担当することになっていたが、空き地のようなところになると急に凶暴化して動き回り、後ろ足でジャンプして飛びかかるようになるので怖いといわれ、十月末からは夕方二人で散歩するように変えた。確かに空き地に入ると大きく右に回転し、「ガオガオ」という声とともに急に回ることがあった。そのスイッチが入ったときは担当を交代する。元を制圧するのが私の役割である。二人ともけが防止のため、



散歩時は土木作業用の少し厚いゴム手袋をはめた。これひとつで防備は十分である。また、スッポ抜けたりしないように首輪を点検し、留め金を代え、リードの途中に山岳用カラビナを付けたりそれなりに対策を立てた。元をある程度自由に動き回らせ続け、疲れたあたりから勝負であ

る。柔道の出足払で動きを制して鎮静化に向かわせた。十一月まではこの事案が数回発生した。元は闘争心が盛んで、絶えず勇猛果敢に向かってきて、簡単には降参するような犬ではない。しかし、結局リード付で闘う武器も限られた存在である。今のところどこまでも対決して最後まで追い込んだりしないで、回避するような終わり方をするようにしている。とくに冬期の服装では犬を恐れる必要は全くない。妻にも弱気にならないよう話した。元は子犬のころ乱暴な遊びが好きなので、その遊びの延長のつもりで精力を発散しているのか、リードから解放されて自由に走り回りたいのでやっているのか。その行動の真意はわからない。ただ困ったものだと思う。

この時期解決策として、妻の方では昼間フセ・スワレ・マテとかという一連の訓練に餌を用いて実施したり、毛の手入れをして触れる機会を増やしたりした。幾分大人しくなる効果はあった。しかし、餌の切れ目が効果の切れ目みたいなもので、頭のいい犬には心底従っているとは考えられない。ただ一通りの状況に応じた処世術を身につけさせる機会になってよかったと思う。

このようなことがなければ、容姿・運動能力・自律性もあり、鋭い感受性をもった人間好きで素直な実に申し分のない犬である。身内に対する噛む習性を今後なくしたいというのが現在の課題となっている。ただし、外部の人に噛みつくことは一度もない。元が暴れているような姿を見られるのは恥ずかしい。飼い主を噛もうとするのは家庭犬としては失格である。身内に対して攻撃するような行動が、忘れたあたりに再発する。厚いゴム手袋は今のところ標準装備の散歩となっている。体格は成犬となったが、それに即した頭の中身が成熟してくると、解消するかもしれない。

子供三人を育てあげたが、子育て以上に時間を費やし、何か悪い予兆を発見したときに夫婦間でいろいろ話し合い、研究して育てている最中である。そういう意味では元を飼育するようになって、幾分若返り、この元より早くは死なれないと健康にも気遣うようになってから、全体としては時に暴れられて勉強するようにもなり、いい効果をもたらしてくれたともいえる。

(2019.1.30)

〔特集〕Shi-Ba 3 月号の「芸州縄文柴犬物語」掲載-経過のあらまし

五味 靖 嘉

昨年秋に、同社青山記者より「クマ狼の現役を紹介していただけないか?」との申し入れがありました。この分野は少々難しいのでお断りしましたが、その際、「縄文柴犬を活用した暮らしなら紹介出来るかも知れない」との申し出をしました。結局、柳楽さんには 2 日間取材に協力していただくことになりました。お忙しいところを、ありがとうございました。

記事の内容は、さすがに玄人です。縄文柴犬の関わりがとても良くまとまっておりました。ここに書かれている事柄は、柳楽さんの人柄なども含めて、生活や活動のほんの一部ですが、好感の持てる内容と写真が 6 頁に満載です。そのような事情を念頭に、「shi-Ba 3 月号」を是非、読んで見て下さい。(22 頁写真参照)

(2019.2/1)

----(以下、SNS から編集しました。)----

取材を受けての感想

JSRC 玄島研究所 柳楽 倫

日本地犬紀行---犬を知るために山村への移住を決意「芸州縄文柴犬物語」とタイトルされ紹介された。

2 日ほど東京からカメラマンさんと編集の方の 2 名でコダモノモリへ来られました。編集の方は様々などころへ取材に行かれてるようで、専門家のような知識があり、とても犬に詳しく素人同然の自分は逆に教えていただくことばかりでした。今後もこのような対応は増えていくと思いますので、あらためて縄文柴犬ノートを熟読しておかないといけないなと感じました。

取材が終わり記事を読んでもみると、こちらが伝えた言葉とは若干違う内容やセリフになってたわけですが(笑)、読んで面白い記事として編集されたのだと理解しております。なかでも、有害獣に関してすこし誇張があるように見受けられましたが、それもまた今の時代に合ったニーズとしての記事なのかなと思いました。全体的な内容としては、このコダモノモリでの犬との関わり方を表現して頂いてると思い感謝しております。(2019.1.31)

「シ ー バ」を読んだ感想

石川県 土井下千明

芸州縄文柴犬物語という見出しと、ノンノとレタラの写真がカッコ良くて、感激でした！昔の犬という表現が、縄文柴犬に、とてもあっているようにも思いましたが、現代を受け入れられない人間と不器用な犬なんて表現されているところが、なんとも面白かったです。

また、コダモノモリの取り組みが、とても良くわかるように書かれており、人と犬が共存していこうとしている世界感が感じられました。

私個人的には、ノンノはやっぱりレタラに比べて、女の子って感じの顔だなあって思いました。それと、倫さんの仙人化が止まりません(*^▽^*) 向井さんもとってもハンサムに写っていました)^o^(

こうして、一般雑誌で縄文柴犬が紹介される事はとても素晴らしい事だと思いました。

と、以上ですが、幼稚な感想ですみません。

(2019.2.1)

Shi-Ba を読んで

玄島県 大名博子

縄文人のような(笑)倫さん御一家の、自然に囲まれた家ならではの生活や、想定外の事態が起きてもお互い共生していく道を探し求める生き方。犬たちと生きることで、食べ物・ゴミ問題について考えさせられたこと。

できない温もりや距離感。

便利な生活と引きかえに、失われてしまった豊かさがここにはあるように感じました。

犬とともに学ばせていただきながら、続いていく物語が楽しみです。

(2019.2.6)

息子さんと、犬たちとのゲームでは、感じることの